

# 東山・東海道と万葉歌

1300年前の万葉集の時代には、すでに都から全国に道が整備され、人々が盛んに行き来し文化が生まれ文学が生まれていました。

東海地方では、東山・東海道が通っていました。今回は、その道の所在を明らかにし、そこで生まれた可児市の「久々利」の歌や恵那山を越えて難波に行く防人の歌、また、名古屋市内を通過する高市黒人の歌などを紹介します。

## 1/28(土)

### 10:30～12:00

受講料:500円

定員:30名

会場:ヤマカまなびパーク6階 視聴覚室

講師  
佐藤 隆  
(中京大学文学部教授)

